

IV. C オデュッセウス

トロイア戦争での活躍

- ・ 召集時に狂人を装う (Ap. 182)
 - ・ 使者、偵察、説得者の役回り (Ap. 190)
 - ・ パラディオンを盗む (Ap. 193-94)
 - ・ 木馬の計略の立案者 (Ap. 194-95)
- トロイア戦争勝利のための決定打

- ・ 10 年間にわたる各地の放浪
- ・ キュクロプス物語 (Bulf. 305-09) —— 機転
- ・ セイレン物語 (Bulf. 312) —— 部下の前でのずるさ、セイレンに対する知恵の優越
- ・ キルケ (Ap. 205 末 6) ・ カリュプソ (Ap. 207. 2) の前ではちゃっかり
 - …しかし妻のことを最後まで忘れず、故国を目指す (Bulf. 311-15)
- ・ パイエケス人に庇護を求めて嘆願する (Bulf. 322)
- ・ 帰国に際しては乞食に身をやつす (Bulf. 325)
- ・ 弓による勝負 —— 武勇

○オデュッセウスを動かしているもの=帰郷を目指す心

知略とずる賢さ

いかなることがあっても機転と忍耐で対処し、

目標を遂げるという heroism

(次ページに資料あり)

次回

タンタロス家

Apollod. 178. 4 - 181. 8

200. 末 4 - 201. 9

Bulf. 300 末 4 - 304

資料

(1) 『オデュッセイア』より

- ・ 帰郷への想い Od. 5. 214-25
- ・ Odysseus の嘆願 Od. 7. 140-66
- ・ Odysseus の忍耐 Od. 20. 9-22

(2) オデュッセウスの物語一覧 (Apollod. 202-209, Bulf. 305-29)

1. キコネス人の地
2. マレア岬での嵐
3. ロートパゴイ人の地
4. ポリュペーモス(キュクロプス族)
5. アイオロス(風神)の島
6. ライストリュゴン人(人喰い人)の地
7. キルケ(女神)のもとで(一年間)
8. 冥界くだり
9. キルケのもとへ(一年間)
10. セイレン(女)
11. スキュラ(女)+カリュブディス(女)
12. ヘリオス(太陽神)の島+嵐
13. カリュプソ(女性)のもとで(七年間)
14. パイアケス人の島
15. 帰国
16. 求婚者らへの復讐
17. Odysseus の死について
18. ペネロペイアの異伝について